

# らいてうの家 通信34号

・・・平和・協同・自然のひろば・・・ 2014. 10.1

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原 1278 Tel.fax : 0268-74-1385  
NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F Tel.fax : 03-3818-8626

9・10・11月のイベント お知らせ

## 森の講座Ⅱ ①10月5日(日) 笹刈り 10時集合 あずまや高原薬草園

昼食は 特製カレー (お・い・し・い・よ・う)

## ②10月6日(月) 大笹街道を極めよう (小型バスで巡ります。)

上田駅——秋和——塩尻——岩鼻(ネズミ)——坂城——戸倉——屋代——松代——川田  
(温泉口 出発9:00) (北国街道をたどる)

福島—須坂—仁礼—大笹街道—峰の原—名神沢の茶屋—中ノ沢—渋沢の—軒家—鳥居峠—田代—大笹—鳥居峠—渋沢—大日向—横沢—新井—下原—伊勢山—長嶋—房山—上田駅 15:00 解散)

講師：坂口益次さん 参加費：1300円 (バス・資料代) 要申し込み (先着10名)

## らいてう講座Ⅳ 昔語りの会 10月19日(日) 13:30~15:30 らいてうの家

演題 十辺舎一九の 続藤栗毛『上州草津温泉道中記』からみた 大笹街道

講師：坂口益次さん (郷土史家) 資料代 300円

今年の開館日もあと少しになりました。11月4日(火)大掃除・5日ワックスがけ・6・7日展示片付け。閉館。水抜きと終末行事が迫ってきました。お手伝い下さる方は今からご準備を！

9月20日(木) 源氏物語講座「紫式部からのメッセージX」開催。



午前中の茶会も含めて 30名以上の参加があり、「わが道を生きる女たち」と題しての宮島満里子さんの講義に聞き入った。今年は「弘徽殿の女御と花散る里」についてジェンダーの視点からみて紫式部は何を言いたかったのかという点で語られた。

～～～参加者の感想から～～～

～～お話を聞きながら茨木のり子の詩の”小気味よき”に通じると感じた。自立した女性が持つ世間を見る目・人間観察力がどこか突き抜けていて偏らず言い訳せず、謙虚で深く思考する。そういう目を紫式部も持っていたのではないだろうか。ウーマンリブのように「男対女」ではなく、女を脱皮

して「人間である」というストレートさでもなく、男は女によって生かされ、女も男によって生かされ、互いに傷つけあい奪い合いする葛藤の中に生きていく姿を紫式部はその透徹した眼で描いたのでは。それを貴族社会の読者はわくわくどきどきして心待ちした。光源氏という“いい男”に翻弄され世を去る幾多の女たち。現代でも同じなのでは？式部が光源氏の最期を描かなかったのは「輪廻転生」。



どの時代にも源氏は生まれ、男と女の愛憎劇は永遠に続く、終わらないという余韻を残した。宮島先生のジェンダー視点からのお話はいつも考えさせてくれるものがあり感謝しています。

真田らいてうの会 倉橋純子

**らいてうの家 訪問者寸描**

\*7月29日

さなだ共同参画ネットワークの仲間たちと「らいてうの家」を訪問しました。涼しげな木立の中、木の香が漂う家の中へ足を踏み入れ、美しいらいてうさんのお写真を見て心を奪われました。強い意志を持ち、一貫した志を生涯持ち続ける尊い思いを学ばせて頂きました。少しでもらいてうさんの想いを、心を感じるために、これからも訪れたいと思います。 真田らいてうの会 竹花みい子

\*8月18日 建物が暖かいらいてうさんにふさわしい素晴らしい環境の「家」を作り上げた女性のパワーに敬服しました

\*9月23日(水) ずっと長い間訪ねたいと願っていてやっと念願がかないととてもうれしいです。杉山さんが上田駅で迎えてくれたおかげです。母親になったばかりのころ、自立を願ってらいてうさんの「元始女性は太陽であった」に心が震えた。女性史を学んでいた頃を懐かしく思う。いまは心の病をした人たちの居場所づくりに忙しい日々。ずっとこの家を思ってきてやっと来ることができ、今日はとても良い日。らいてうの家の維持会員になったのでこれからは度々来てみたい。私の心の気分転換に。また志の新鮮さも保っていきたいので。

\*9月26日(木) うわあ 木の香りのすばらしさ！やはりニホンジンノ心や！ 滋賀 新婦人

\*9月26日 念願の家に ようやく来ることができました。8人できました。 滋賀から来ました！

**1日貸館** 9月は連日団体客の訪問があり、特に後半は火水木金と開館していた。その中で俳句の会の1日開館があったので その方たちの句作を披露していただきます。(あすなる句会)

- \* りいてうの家 しなやかに 赤とんぼ 道代
- 秋茄子の 枯れたる棘に 刺されけり 和栄
- 赤子抱き 葉陰に見ゆる 寝待月 和子
- りいてうの 心学ぶや 初紅葉 章江
- 稲穂たれ 纏える空気 黄金色 悦子
- 秋の夜や 机上に数多 レコード盤 紀恵子
- りいてう忌 平凡に生き 悩みおり 早苗
- 追えば逃げ 逃げれば追わる 赤とんぼ 栄子
- 山羊の目の 横一文字 秋の風 まさ子
- 風は秋 隠れてみたき 幹のあり 順子

句会を終えて あすなる句会主催 田中純子  
平塚らいてうは女性が自由にいきりことを願って活躍し、その心は今も私たちを導いてくださっているようです。私たち『あすなる』句会は明日はヒノキになりましょうと皆で頑張っています。俳句は自然と対峙して作る世界で一番短い詩。今日は色づき始めた樹木に囲まれた「らいてうの家」で句会ができて一同感謝でいっぱいです。自然に語り掛けたくなるこの「家」で又させてください